



財団法人メディポリス医学研究財団がん粒子線治療研究センターとの共同研究部門を開設

概要

九州大学先端医療イノベーションセンターは、この度、財団法人メディポリス医学研究財団がん粒子線治療研究センター（鹿児島県指宿市）との間で共同研究部門を開設しました。

共同研究部門の名称は「癌局所制御研究部門」で、がん粒子線治療研究センターの有する九州唯一のガントリー装置を利用した陽子線の多門照射による乳がん・膵がんに対する治療の臨床的研究や先端的な医療技術の開発を行っていきます。

背景

粒子線治療は、がんに対して高い治療効果が期待できる身体への負担の少ない新しい治療法として注目されています。粒子線は身体の中を進んだところで線量がピークになる性質があり、副作用が少なく、深部の病巣局所に高い効果を発揮します。

この粒子線治療法は、新たなシステム開発や他の治療法との組み合わせによる集学的治療法の確立により、さらに多くのがんに対してより効果的な治療法として役立つことが期待されています。

内容

当共同研究部門では、陽子線治療を中心とした局所でのがん制御による治療法の開発を目指します。がん粒子線治療研究センターは、九州で唯一ガントリー装置を有する陽子線治療施設であり、この装置を利用した多門照射により高精度の陽子線照射が可能となり、様々ながんに対して治療の可能性が広がっています。そこで、主に乳がんと膵がんを対象に、①新しいガントリー装置でのがんの局所制御についての研究、②転移傾向の強い固形がんに対する陽子線治療と免疫療法による複合療法の研究、を行っていきます。

効果

陽子線治療は、新規ガントリー装置、高精度照射法などのさらなるシステム開発や、照射効果の生物学的特性の研究により、一層の治療効果の向上が期待されます。研究を通じて、陽子線治療の新たな適応や有効性が評価され、安全で効果的な治療法の確立につながります。さらに、がん免疫療法の導入や、遺伝子解析による効果予測など新しい枠組みの集学的治療法の開発から、より効果的な陽子線治療が臨床に提供され、がん治療の成績向上に役立つことが期待されます。

【お問い合わせ】

先端医療イノベーションセンター長 橋爪 誠

電話：092-642-6222

FAX：092-642-6224

Mail：mhashi@dem.med.kyushu-u.ac.jp